



ex. COMPUTER[®]

ガイドブック

Windows 10 版

はじめに

このたびは、eX.computerをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
ございます。

製品を末永くご使用いただくために、本ガイドブックは大切に保管して
いただきますようお願いいたします。

eX.computer製品本体の各部名称およびパソコンの接続方法は、クイック
セットアップガイドをご参照ください。

ガイドブックに記載された内容は、必要に応じて予告なしで変更される
場合がございます。

本製品は日本国内仕様です。
商品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

This product is for japan use only.
No technical support is available in foreign languages other than Japanese.

- Microsoft、Windowsは、米国 Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

CONTENTS

安全にご使用いただくために	P4～P7
快適にご使用いただくために	P8～P9

第1章 セットアップ

1-1 パソコンのセットアップ	P11
1-2 システムの設置場所	P12
1-3 Windowsのセットアップ	P13～P14
1-4 Windowsを終了する	P15

第2章 クリーニング

2-1 定期的なクリーニングの実施	P17
1. クリーニングの際に準備するもの	
2. 外部の汚れを拭き取る	
3. 内部の汚れを拭き取る	

第3章 パーツの増設

3-1 増設に関する注意事項	P19
1. 増設する前に	
2. ハードウェアの増設・交換の仕方	
3. ケースを開ける時の注意事項	

第4章 Windowsの再インストール

4-1 Windows10の「このPCを初期状態に戻す」について	P21
4-2 「このPCを初期状態に戻す」の操作手順	P22～P24
4-3 デバイスドライバのインストール	P25

第5章 困ったときは

5-1 トラブル Q&A

- ・電源が入らない P27
- ・電源は入るが何も表示されない P28
- ・映像は映るが文字だけの画面で止まる P29
- ・音が出ない P30
- ・インターネットにつながらない P30

第6章 サポート・サービス

- 6-1 「故障かな？」と思ったら P32
- 6-2 eX.computer 保証規約 P33~P34
- 6-3 eX.computer 修理規約 P35~P40

第7章 回収・リサイクル

- 7-1 製品の買取りサービスについて P42
- 7-2 PCリサイクルについて P43

安全にご使用いただくために

本製品は安全に十分配慮して設計されていますが、製品の使用方法を誤ると火災や感電などの重大な事故につながる危険性があります。

事故を未然に防ぐために、以下の注意事項や禁止事項を必ずお守りください。



禁止

この表示の禁止事項を守らないと、火災・感電により死亡や大けがなどの人身事故につながる可能性があります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

A 異常がおきたら

万が一、本体に下記のような症状が確認された場合は、すみやかに電源プラグを抜き、eX.computerサポートセンターへご相談ください。

お問い合わせフォーム <https://support.tsukumo.co.jp/contacts/entry>

発煙 本体から煙が出てきた場合

異物 本体に水などの液体をこぼしたり、異物が入ってしまった場合

異臭 本体内部より異常な臭いがしている場合

異音 本体から突然異音が発生した場合

B 禁止事項

禁止 電源コードに傷をつけない

電源コードを傷つけてしまうことで火災や感電の原因となり大変危険ですので絶対におやめください。

次の使用方法をお守りください。

- ・電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
- ・設置時に、電源コードを本体と壁や棚などの間にはさみ込まない。
- ・電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・電源コードの上に重いものを載せたり、引っ張ったりしない。
- ・電源コードを熱器具に近づけたり、加熱したりしない。

安全にご使用いただくために

△ 禁止 湿度の高い場所やほこりの多い場所に設置しない

湿度の高い場所や、ほこりの多い場所に設置すると、漏電やショート、発熱により故障するばかりでなく火災や感電の危険がありますので、絶対におやめください。

△ 禁止 内部に液体や異物を入れない

本体内部に水などの液体や異物が入ると、漏電したりショートして発火するなどの危険性があります。万一、液体や異物が入ってしまった場合は、すぐに使用を中止して、eX.computerサポートセンターにご相談ください。

△ 禁止 雷が鳴り出したら使用しない

雷が発生している時に使用すると、感電する危険があります。雷が発生している時は使用しないでください。

△ 禁止 交流100V以外では使用しない

本製品は日本国内専用です。海外などの異なる電圧地域での使用は、火災や感電の原因となりますので絶対におやめください。

△ 禁止 濡れた手で電源プラグやケーブルに触らない

濡れた手で電源プラグやケーブルの抜き差しをすると、感電の原因となりますので絶対におやめください。

△ 禁止 指定外の電源コードや接続ケーブルを使わない

指定外の電源コードや接続ケーブルを使うと、感電や故障の原因となる場合があります。

△ 禁止 通風孔をふさがない

通風孔をふさいで使用すると内部の温度が過度に上昇して、火災や故障の原因となるだけでなく電子部品の寿命を縮めます。

本体内部の温度を適切に保つために、次にあげる項目をお守りください。

- ・壁から10cm以上離して設置してください。
- ・棚やラックなどの密閉された場所に押し込まないでください。
- ・じゅうたんや布団などの上に設置しないでください。
- ・布などで包まないでください。
- ・定期的に通風孔のホコリを取り除いてください。

安全にご使用いただくために

⚠ 禁止 長時間連続運転しないでください

本製品は一般家庭や一般事務用を想定されており、24時間連続稼働させるような工業用途・サーバー用途は想定されていません。このような使用方法をされると部品の極端な劣化により発煙や発火などの危険を伴いますのでおやめください。

C 注意事項

⚠ 注意 電源コードを抜かずに本体の設置や調整、掃除をしない

次のような作業をされる場合には、必ず電源コードを抜いてください。感電などの事故につながるだけでなく、故障の原因となります。

- ・ 本体の内部／外部にかかわらず、ケーブルの抜き差しをする場合。
- ・ 本体内部にメモリーや拡張ボード、ハードディスクなどを増設する場合。
- ・ 本体を清掃する場合。

⚠ 注意 不安定な場所に設置しない

不安定な場所や傾いたところに設置すると、倒れたりしてけがの原因となることがあります。また、設置場所の強度も確認してください。

⚠ 注意 製品に乗らない、重いものを載せない

製品に過度の重量がかかると、転倒の原因となったり、ケースが変形して故障の原因となりますのでおやめください。

⚠ 注意 電源コードや接続ケーブルを接続したままで移動しない

本体に接続されているケーブル類を接続したまま移動しますと、コネクタ部分に過度の負担がかかって破損の原因となるばかりでなく、他の接続された機器を転倒させる危険性がありますのでおやめください。

⚠ 注意 コネクタをきちんと接続する

コネクタはまっすぐに奥まできちんと挿し込んでください。斜めに挿し込まれると隙間が空きホコリや金属片が入り込んでショートし、火災や故障の原因となります。また、コネクタに固定用のネジが付いている場合には必ずネジを締めてください。

安全にご使用いただくために

⚠ 注意 直射日光の当たる場所や、熱器具の近くに設置・保管しない

直射日光の当たる場所やストーブなどの熱器具の近くで使用すると、本体内部の温度が上昇し、火災や故障の原因となりますのでおやめください。

⚠ 注意 電磁気を発生する機器の近くに設置しない

電話機などのような磁気を発生させる電気機器に本体を近づけすぎないようにしてください。故障や誤動作の原因となります。

⚠ 注意 ドライブの内部を覗き込まない

DVDやBlu-rayドライブに使われているレーザーは、目に障害を与える可能性がありますので、電源を入れた状態で前面パネルのドアやその他開口部分に目を近づけてドライブの内部を見ることは絶対におやめください。

快適にご使用いただくために

本製品を長く安全・快適にご使用いただくため、以下の項目を必ずご一読ください。

A 故障の予防について

日頃のお手入れや設置場所、設置環境に気をつけることで製品を長く安全にご使用いただくことができます。また、故障の予防にもなりますので、次の内容をご確認ください。

▲参考 防塵フィルターの清掃や交換を行なう

防塵フィルターが付いている機種は、定期的にフィルターを確認していただきホコリが付着している場合、フィルターの清掃を行ってください。フィルターの取り外しや取り付け方法はクイックセットアップガイドを参照してください。

▲参考 パソコンの近くでの喫煙は避ける

パソコンの近くで喫煙されると、煙がパソコン内部に入り込み冷却ファンの軸受が極端に劣化します。そのまま使用を続けるとファンが停止して冷却不良により故障する場合があります。また、光学ドライブなどのレンズにも影響し、メディアの読み取り不良や書き込み不良などを起こす場合があります。パソコンの近くでは極力、喫煙されないことをおすすめいたします。

B 大切なデータはバックアップを取ってください

パソコンは大切に使用されていても突然故障が発生することがあります。故障した場合、最悪内部に保存されているデータが全て失われます。大切なデータは日頃からバックアップを取っていただくようおすすめいたします。

C 身体に負担のかからない使用方法

身体に極力負担のかからないように、次の内容を参考に外部機器等を調節してお使いください。

▲参考 モニターの角度調節

お客様が本製品に接続して使用しているモニターに、上下左右の角度を調整する機能がある場合は、外光や蛍光灯の光が画面に映りこまないように見やすい角度に調整しましょう。

快適にご使用いただくために

※モニターの操作方法については、モニターの取扱説明書をご覧ください。

▲参考 モニターの輝度(明るさ)やコントラスト(濃淡)の調節

モニターの輝度やコントラストは製品の個体差、部屋の明るさなどの使用環境、利用者の好みにより異なります。画面が見やすくなるよう状況や環境に応じて調節してご使用ください。

▲参考 キーボードの調節

キーボードによっては、角度を調節できるものがありますので、入力しやすいように角度を変えることで、肩や腕などにかかる負担を減らしましょう。

▲参考 こまめに休息する

パソコンを長時間使用しますと、同じ姿勢になりやすいため、体の一部に負担がかかります。このことから、次のような症状がおきやすいと言われています。

- ・目が疲れたり、重く感じたりする
- ・ものがぼやけて見える
- ・肩が凝る

このような症状には個人差がありますが、体に負担のかからないように、下記の内容を参考に、こまめに休息をとるようにしましょう。

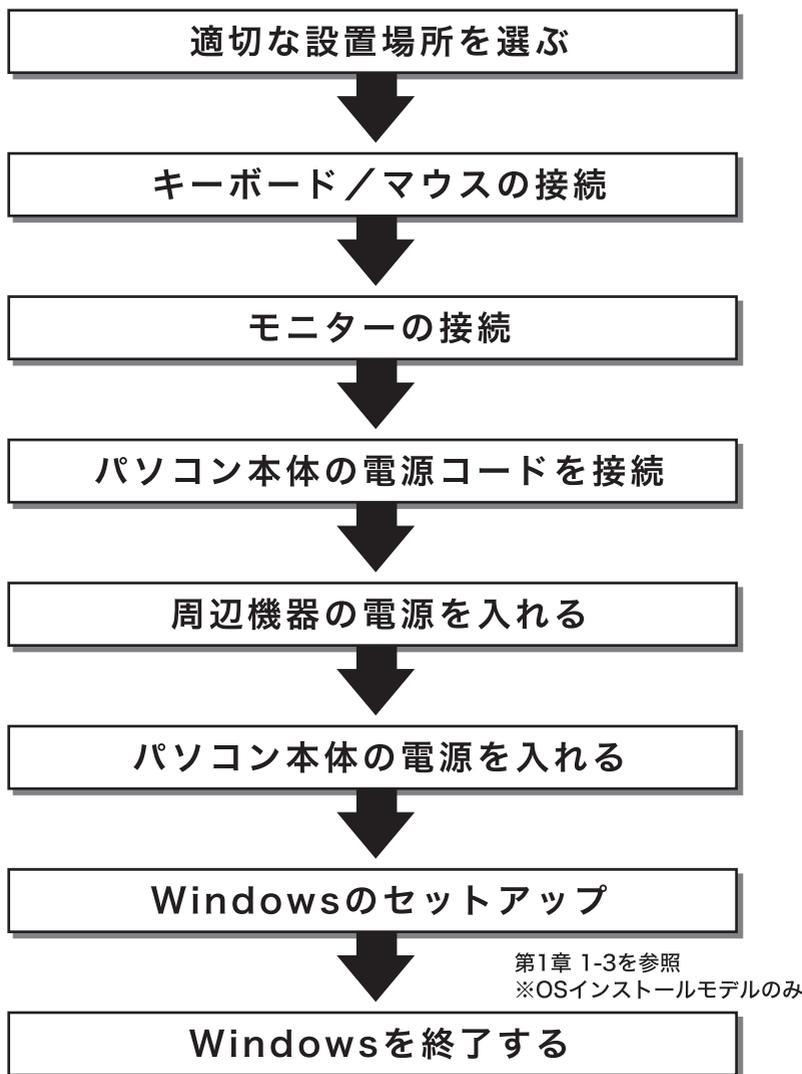
- ・1時間使用したら首や肩、腕などのストレッチを行いましょう。
- ・1時間使用したら窓の外など遠くを見るようにして、目の疲れを取りましょう。
- ・連続して3時間程度使用したら、15分以上の休憩を取りましょう。

第1章 セットアップ

1-1 パソコンのセットアップ	P11
1-2 システムの設置場所	P12
1-3 Windowsのセットアップ	P13~P14
1-4 Windowsを終了する	P15

1-1 パソコンのセットアップ

パソコンセットアップの流れについて説明します。
セットアップを行うときには、本書とクイックセットアップガイドを参照しながら作業を行ってください。



第1章 1-4を参照

※周辺機器のセットアップならびに接続方法、電源の入れ方は、周辺機器の取扱説明書をご参照ください。

まずは、適切な設置場所を選んでください。
次の条件を満たす安全で便利な場所を選ぶことが重要です。

△ 禁止 不安定な場所に設置しない

不安定な場所や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置場所の強度も十分に確認してください。

△ 禁止 通風孔をふさがない

通風孔をふさいでしまうと熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しを良くするために次の項目をお守りください。

- ・壁から10cm以上離して設置してください。
- ・密閉された場所に押し込めないでください。
- ・じゅうたんや布団などの上に設置しないでください。
- ・布などで包まないでください。
- ・あお向けや横倒し、逆さまにしないでください。

△ 禁止 直射日光の当たる場所や、熱器具近くに設置しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となります。

△ 禁止 湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となります。

△ 禁止 電磁気の干渉を避ける

電話機のような磁気を発生させる電気機器に、パソコン本体を近づけすぎないでください。

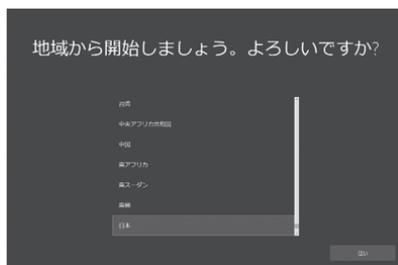
故障や誤動作の原因になります。

パソコン本体に電源を入れると、自動的にWindows 10の準備作業が始まります。これは、購入してから初めて本機の電源を入れた時に一度だけ行う作業です。

※注意：作業中は絶対に、途中で電源を切ったり、リセットボタンを押さないでください。Windows10 が正しくセットアップできず、起動しなくなる場合があります。

1 初回起動とセットアップ

電源を入れると、自動的にWindows10の準備作業が始まります。画面の表示に従い、必要事項を入力して進めてください。
(絶対に途中で電源を切らないでください。)



※注意

画面の内容は Windows のバージョンにより異なります。
詳細は下記ページに説明がありますので必要に応じてご参照ください。

FAQ：Windowsの初回セットアップについて

https://faq.tsukumo.co.jp/index.php?solution_id=1251



すべての設定が完了すると Windows10が起動します。

2 ライセンス認証 (プロダクトアクティベーション)

Windows10起動後、ライセンス認証を行います。
デスクトップ画面左下の「スタート」→「設定」の
順にクリックします。

※インターネットに接続できる環境が必要です。



3 「Windows の設定」が表示されます。 [更新とセキュリティ] をクリックします



4 「更新とセキュリティ」が表示されます。 左メニューの [ライセンス認証] をクリックします。 右メニューの「プロダクトキーを変更します」を クリックします。



5 「プロダクトキーの入力」が表示されます。 プロダクトキーを入力します。 プロダクトキーはパソコン本体に向かって右側面に 貼付されています。

※モデル、出荷時期により異なる場合があります。



作業を終了して、Windows10を終了させる手順は次のとおりとなります。



スタートボタン

スリープ
シャットダウン
再起動

終了・再起動の操作

デスクトップ画面左下の「スタートボタン」を押すと、上記画面が表示されます。パソコン本体の電源をオフにするには、メニュー下部にある電源をクリックして、「シャットダウン」をクリックすると「シャットダウンしています・・・」のメッセージ表示後、Windowsが終了し自動的に本体の電源が切れます。

第2章 クリーニング

2-1 定期的なクリーニングの実施 P17

1. クリーニングの際に準備するもの
2. 外部の汚れを拭き取る
3. 内部の汚れを拭き取る

1 クリーニングの際に準備するもの

- ・乾いたきれいな布
- ・ブラストドライバー
- ・OA用クリーニングキット
- ・エアダスター

※シンナーやベンジンなど揮発性の有機溶剤、ならびにこれらの有機溶剤を含む化学ぞうきんも使用しないでください。製品を傷め、故障の原因になります。

水や中性洗剤などの液体をパソコン本体や周辺機器に直接かけないでください。

内部清掃を行う場合には、内部のパーツやケーブルに触れないようにしてください。

クリーニングの際にはパソコン本体や周辺機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてからクリーニングを行ってください。感電の恐れがあります。

固いもので擦ったり、強く押さえつけたりすると、故障や破損の原因になります。

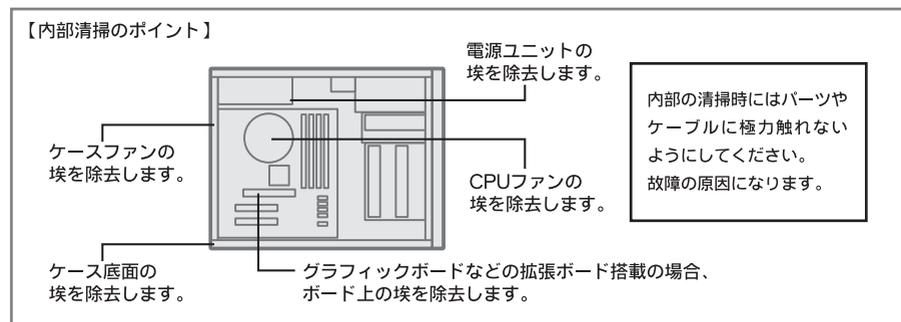
2 外部の汚れを拭き取る

パソコン本体やキーボード・マウス、ディスプレイ（画面以外の部分）は、柔らかい素材の乾いた布で拭いてください。

汚れがひどい場合は水かぬるま湯を含ませて、固く絞ってから拭いてください。薄めた中性洗剤を使用した場合は、水かぬるま湯を含ませ固く絞った布で二度拭きしてください。

3 内部の汚れを拭き取る

内部の清掃を行う場合には、ケース裏面向かって右側のサイドパネルを固定しているネジをドライバーで取り外し、サイドパネルを背面方向に数センチスライドさせてから取り外してください。内部清掃が終了したら、作業開始時と逆の手順でサイドパネルとネジの取付を行います。



内部には様々なパーツがケーブルで接続されています。ケーブルを抜いたり破損すると、故障の原因となります。また、拡張ボードやメモリに触れて接触不良が生じた場合は起動しなくなる場合があります。

内部清掃を行う際には掃除機を使用しないでください。掃除機より発生する静電気により故障することがあります。

第3章

パーツの増設

3-1 増設に関する注意事項 P19

1. 増設する前に
2. ハードウェアの増設・交換の仕方
3. ケースを開ける時の注意事項

1 増設する前に

増設を行う前には、必ず身体の静電気を除去してください。身体の静電気によって、内部の部品が破損する場合があります。また、作業中はプラグやコネクターの金属部分には絶対に触れないでください。



破損時の保証について

パーツの増設や交換などが原因で、本機が故障したり、破損したりした場合は、保証期間中でも保証対象外となり、修理には実費をいただきます。

2 ハードウェアの増設・交換のしかた

Windowsには、パーツの増設や交換を行うと、自動的に認識し、すぐにパソコンで使えるようにする機能があります。これをプラグ&プレイと呼んでいます。

ただし、ハードウェアがWindowsのプラグ&プレイに対応していない場合は、お客様でパソコンの設定を変更したり、Windowsの対応デバイスドライバ（ハードウェアを動作させるためのソフトウェア）をインストールする必要があります。

3 ケースを開ける時の注意事項

本体のケースを開けて作業するときには、次のことに注意してください。

- ・パソコン本体および、周辺機器の電源を必ずOFFにして、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
また、電源をOFFにしてから、十分に時間をおいてからケースを開けてください。
高温部でやけどすることがあります。
- ・ケーブルを外すときは、必ずプラグを持って外し、絶対にケーブルを引っ張らないでください。導線の断線や露出が起こり、火災や感電の原因になります。
- ・周辺機器の接続ケーブルをすべて抜いてください。

第4章

Windowsの 再インストール

- 4-1 Windows10の「このPCを初期状態に戻す」について… P21
- 4-2 「このPCを初期状態に戻す」の操作手順 …… P22～P24
- 4-3 デバイスドライバのインストール …… P25

Windows 10の「このPCを初期状態に戻す」機能を使用して、Windows10のリカバリ（初期化）を行うことができます。

「このPCを初期状態に戻す」機能は、作業プロセスの中で、ドキュメントやピクチャなどの個人データやユーザーアカウントなどの個人用ファイルを保持するか、またはすべてのデータを削除するか、選択することができます。

※ここではOSが起動できる場合のWindows10のリカバリ（初期化）する方法をご説明します。OSが起動できない場合およびWindows10インストールディスクを使用した再インストールの手順についてはサポートページをご参照ください。

eX.computer サポートページ
https://faq.tsukumo.co.jp/index.php?solution_id=1200



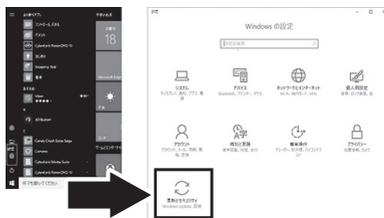
【注意】

- ※作業中にトラブルが発生した場合データにアクセスできなくなる可能性があります。当社ならびにマイクロソフトはデータに関する責任は一切負えません。重要なデータは作業前に必ずバックアップを取ってください。

1

「このPCを初期状態に戻す」画面の表示

スタートメニューを開き、「設定」をクリックし「Windowsの設定」ウィンドウ内の「更新とセキュリティ」をクリックします。



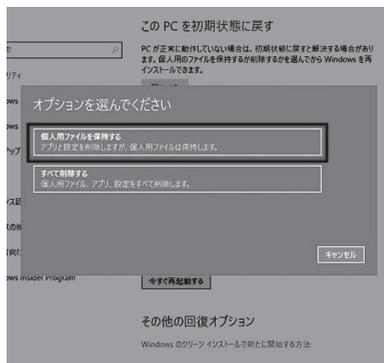
画面が遷移したら、左側メニューの「回復」をクリックし、「このPCを初期状態に戻す」の欄にある「開始する」をクリックします。



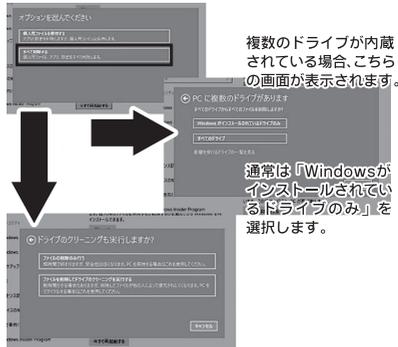
2

オプションの選択

「個人用ファイルを保持する」または「すべてを削除する」のどちらかを選択します。通常のリカバリを行う場合は「個人用ファイルを保持する」を選択します。



※ドライブの空き容量を増やすため、またはWindowsがウイルスに感染した疑いがある場合などは、「すべてを削除する」を選択します。この場合、すべてのデータが削除されます。

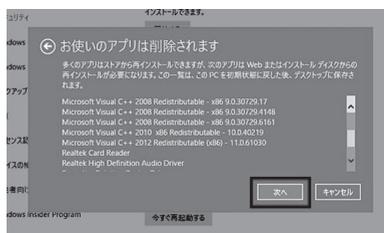


3

削除されるアプリの表示

「お使いのアプリは削除されます」と出て、リカバリ後に削除されるアプリの一覧が表示されます。

内容を確認し、問題がなければ「次へ」をクリックします。

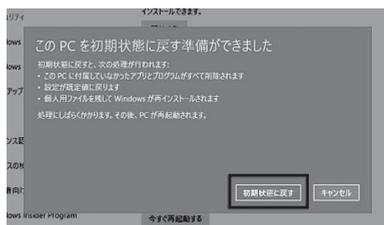


4

リカバリ準備の完了

「このPCを初期状態に戻す準備ができました」と表示されます。

よろしければ「初期状態に戻す」をクリックします。



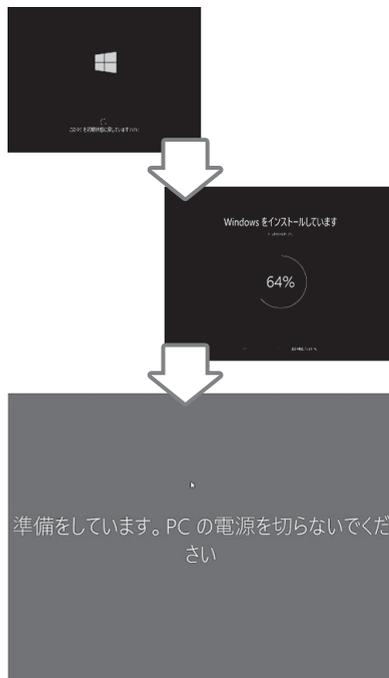
5

リカバリの開始

パソコンが自動的に再起動され、リカバリ作業が開始されます。

作業完了まで数回再起動されます。

作業は自動的に完了しますので、何も操作をせずにお待ちください。



6

リカバリの完了

完了後に表示されるデスクトップ画面上に、「削除されたアプリケーション」というファイルが作成されます。

このファイルを開くと、リカバリ作業によって削除されたアプリケーションが一覧で表示されるので、こちらを確認の上、削除されたアプリケーションを必要に応じてインストールしてください。



4-3 デバイスドライバのインストール

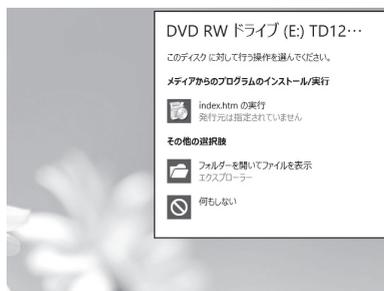
Windowsの再インストールが終了したら、ハードウェアが正しく動作するように必要なデバイスドライバをインストールします。

デバイスドライバは、本体に付属しているドライバディスクからインストールを行います。

- 1 ドライバディスクを光学ドライブへセットします。画面の右上にディスクに対して行う操作を促すポップアップが表示されたらクリックします。



- 2 ディスクに対して行う操作内容を選択する画面が開いたら「index.htmlの実行」をクリックします。



- 3 ドライバのインストールメニューが起動したら、次の手順でドライバをインストールします。

ステップ1: CPUのメーカーを選択します。
ステップ2: マザーボードの型番を選択します。
ステップ3: OSを選択します。
ステップ4: ドライバの一覧が表示されますので、上から順番に必要なドライバを選択し、SET UPアイコンをダブルクリックします。



※ビデオドライバは、表示される一覧より該当するドライバを選択してください。

第5章

困ったときは

5-1 トラブル Q&A

- ・電源が入らない P27
- ・電源は入るが何も表示されない P28
- ・映像は映るが文字だけの画面で止まる P29
- ・音が出ない P30
- ・インターネットにつながらない P30

症状 電源が入らない

電源スイッチを押しても電源ランプが点灯しない、ファンが回転している音がしない場合、下記内容について確認ください。

Q1 電源コードがしっかり挿し込まれていますか？

A1 パソコン背面の電源コードがしっかりと奥まで挿し込まれていますか？挿し込みが浅いと、接触不良を起こして通電しないことがあります。もう一度、奥までしっかり挿し込まれているか確認してください。

Q2 パソコン背面にある電源スイッチはオンになっていますか？

A2 機種によってはパソコンの前面だけでなく、背面の電源ユニットにも主電源スイッチの付いているものがあります。パソコンの背面（裏側）の電源ケーブルの挿し込み口の近くにある「○ ー」と刻印されたスイッチが「ー」の側になっているかどうかを確認してみてください。

Q3 OAタップのスイッチはオンになっていますか？

A3 パソコンをOAタップ（コンセントの挿し込み口が複数ついているもの）につなげている場合、このOAタップに電源スイッチが付いているものがあります。これがオンになっているかを確認してください。

Q4 たこ足配線をしていませんか？

A4 最新のパソコンは電源の容量がたいへん大きくなっており、機種によっては電源を入れるときに相当に大きな電力を必要とするものがあります。たこ足配線をしていますと、他に接続している機器に電力を取られて電力不足になり、パソコンの電源が入らない可能性があります。配線などを確認しても間違いがない場合には、壁のコンセントに直接パソコンを接続してみてください。

症状 電源は入るが何も表示されない

電源スイッチを押すと、電源ランプは点灯し、ファンが回転する音もしているが、画面に何も映らない場合、下記の内容を確認してみてください。特に、画面に何も映っていないにも関わらず Windows の起動音が聞こえる場合にはモニターの接続に問題がある場合があります。

Q1 モニターケーブルはしっかりと奥まで挿し込まれていますか？

A1 モニターのケーブルの挿し込み具合をもう一度確認してみてください。挿し込みが浅いと信号がモニターに届かないことがあります。

Q2 モニターケーブルの接続位置を間違えていませんか？

A2 グラフィックボードをオプションなどで組み込まれている機種では、パソコン側のモニターケーブルの挿し込み口が複数あるものがあります。工場出荷時では画面の出力されないコネクタはテープ等で塞いで出荷しています。このテープを剥がしてモニターケーブルを接続していませんか？

Q3 モニターの電源は入っていますか？

A3 モニターの電源ケーブルが挿し込まれているか？電源スイッチがオンになっているか？を確認してください。

Q4 モニターの入力切替スイッチは正しく設定されていますか？

A4 モニターの機種によっては、映像入力の切替が自動ではなく手動の場合があります。モニターの取扱説明書をご参照の上、切替スイッチがある場合にはこれを切り替えてください。

Q5 パソコン切替器を使っていませんか？

A5 パソコン切替器を使っている場合、一部の機種同士の組み合わせでは画面が出力されないなどの不具合が発生することがあります。パソコン切替器を使わず、直接モニターをパソコンに接続して画面が正常に映るかどうかを確認してください。

症状 画面は映るが文字だけの画面で止まる

パソコンを起動してメーカーロゴのまま先にすすまなかったり、英文字だけの画面で停止している場合、下記の内容を確認してください。

Q1 キーボードやマウスは正しく接続されていますか？

A1 キーボードやマウスがきちんと接続されていないと、エラーが出て起動途中で止まることがあります。マザーボードのメーカーロゴで止まったまま先に進まない場合にも、このような状態になっている可能性があります。一度電源を切り、キーボードやマウスの接続をやり直してから、再度電源を入れてください。

Q2 USBフラッシュメモリーが接続されていませんか？

A2 USBメモリーや外付ストレージなどのUSB機器が接続されたまま電源を入れますと、場合によってはそのUSB機器からパソコンが起動しようとするので、Windowsが起動せず「システムが見当たりません」などのエラーメッセージが英文で表示されて止まります。このような場合、一度電源を切り、USB機器を取り外してから再度電源を入れてください。

症状 音が出ない**Q1** スピーカーケーブルの接続位置を間違えていませんか？

A1 通常、スピーカーケーブルは緑色のコネクタに接続しますので、もう一度確認してください。また、オプションでサウンドボードを増設されている場合は、サウンドボードのマニュアルをご参照ください。

Q2 Windowsの設定でサウンドの音量が絞られていませんか？

A2 画面の右下にあるスピーカーのアイコンをダブルクリックして、サウンドの音量がゼロになっていないかを確認してみてください。

Q3 サウンドの設定で「ミュート」にチェックが入っていませんか？

A3 画面の右下にあるスピーカーのアイコンをダブルクリックして、ミュートにチェックが入っていないかを確認してみてください。

Q4 スピーカーの音量が絞られていませんか？

A4 接続しているスピーカーやモニター内蔵のスピーカーの音量ツマミが絞られていませんか？これらの機器のマニュアルを参照の上、音量を確認してみてください。

症状 インターネットにつながらない**Q1** ケーブル (LANケーブル) は、きちんと挿し込まれていますか？

A1 ネットワークケーブルが奥まできちんと挿し込まれているかを確認してみてください。通常、ネットワークケーブルがきちんと挿し込まれているとLANコネクタ部の緑色のランプが点灯します。

Q2 インターネットの設定は終わっていますか？

A2 ADSLや光回線などは回線工事しか通常行いません。パソコンの設定はお客様ご自身が行うのが通例となります。パソコンの設定を終えなければインターネットに接続することはできませんので、まずはこの接続設定をしてください。なお、接続設定はプロバイダー固有の内容になりますので、設定方法については契約されたプロバイダーにお問い合わせください。

上記以外のトラブルは [eX.computer サポートページ](https://www.tsukumo.co.jp/bto/pc/info/support/)をご覧ください
<https://www.tsukumo.co.jp/bto/pc/info/support/>

第6章

サポート・サービス

- 6-1 「故障かな？」と思ったら …………… P32
- 6-2 eX.computer 保証規約 …………… P33～P34
- 6-3 eX.computer 修理規約 …………… P35～P40

「故障かな？」と思ったら、下記の手順で動作確認をしてください。

1 本書の第4章「困ったときは」を参照する

本書の第4章にはトラブルQ&AやWindowsシステムの修復の作業手順が記載されておりますので、これを参考に確認してみてください。

2 eX.computer サポートページのFAQなどを参照する

専用サポートページ <https://www.tsukumo.co.jp/bto/pc/info/support/> にあるFAQに、基本的なトラブルへの対処方法が記載されていますので、これを参考にして動作を確認してみてください。

3 eX.computer サポートセンターに連絡する

付属品として同梱されている『「故障かな？」と思ったらお読みください』を用意し、『修理チェックシート』の「A・故障診断」の欄に必要事項を記入の上、同紙に記載の eX.computer サポートセンター専用ダイヤルまで、お電話にてご連絡ください。

またお電話でのお問い合わせが難しい場合は、下記サイトからお問い合わせいただくことも可能です。

<https://support.tsukumo.co.jp/contacts/entry>

4 当社修理センターに修理を依頼する

eX.computer サポートセンターの案内にしたがって「修理チェックシート」の「B・修理申し込み」欄に必要事項を記入の上、「修理チェックシート」を修理品に同梱して、当社修理センターにご発送ください。

1. 保証期間

製品の保証期間は製品のご購入日より1年間となります。

また、リファービッシュ（再生品）モデルの保証期間は、ご購入日より90日間となります。

保証期間内における製品の故障修理については、無償修理が適用されます。但し、保証対象外に該当する場合は除きます。

2. 初期不良について

保証期間においてご購入日より1ヶ月以内を初期不良期間とします。

この場合でも修理対応となります（修理にかかる往復送料は当社が負担致します）。

また、リファービッシュモデルについては保守パーツの確保が難しい場合などに限り同等品交換・返金となる場合があります。

3. 保証対象外

保証期間内であっても、次の事項に該当する場合は、保証対象外となり有償修理となります。

- 1 該当製品の購入を証明できるレシートやお買い上げ明細書などの書類を提示いただけない場合。
- 2 輸送、移動時の落下（当社が出荷した場合を除く）、製品送付時の梱包不備（緩衝材の不足、箱の強度・サイズ不足など）を含め、ご購入後の取り扱い不備により発生した故障・損傷。
- 3 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天変地異などの災害による故障・損傷。
- 4 車両、船舶、航空機、工場など振動や腐食性ガスが発生する場所、水や油が近くにある厨房など、一般的な家庭・オフィスから著しく逸脱した環境で使用されたことによる故障。
また、24時間の連続使用や高温となる制御機器への組み込みなどで使用された場合。
- 5 液体や異物（虫や小動物含む）の混入や、大量の埃・油・カビ・腐食などが認められる場合。
- 6 製品の外部または内部に、不具合や故障の原因となりうる改造や破損が認められる場合。
- 7 製品に適合しない機器の接続や取り付けに起因する不具合および故障・破損。また、電源や接続した機器からの過電圧など外的要因による故障。
- 8 お客様自身が増設、交換された機器もしくはその作業自体に起因する故障および損傷。
- 9 寿命のある部品または消耗部品が自然消耗、摩耗、劣化等により部品の交換が必要となった場合。
- 10 ケース表面の傷、凹み、染みやスイッチおよびその周辺の変色など、自然劣化による損傷。
- 11 出荷時にインストールされているOS以外を使用されたことに起因する不具合。
- 12 当社が指示した場合を除く、お客様で実施されたOSやソフトウェアのインストール、BIOSアップデートに起因する不具合および故障。
- 13 コンピューターウイルスやスパイウェアなど、外的要因による不具合および故障。
- 14 日本国外で使用された場合。

4. 保証期間内の修理

ガイドブック（本書）の「安全にご使用いただくために」の記載事項に基づくお客様の正常な使用状態で、前途の保証対象外の項目に該当しない場合、eX.computer 修理規約に基づく無償修理をいたします。（詳細は「6-3」の修理規約をご覧ください）

5. 保証期間外の修理

保証期間を超過した場合には、eX.computer 修理規約に基づく有償修理を致します。
(詳細は「6-3」の修理規約をご覧ください)

6. 修理後の保証

修理完了日より90日以内で発生しました同一箇所の不具合の場合、無償にて修理対応を行います。
(詳細は「6-3」の修理規約をご覧ください)

7. 修理困難な製品について

修理依頼品の状態、故障部分あるいは当社の事情により、修理が不可能または困難な場合、当社が選定する同程度の機能・性能を有する製品（修理依頼品と類似の製品・異機種を含みます）との交換をもって修理対応とさせていただきます場合があります。また、修理が合理的でないと判断した場合、買替を提案するものとし、ご同意いただけない場合は修理のご依頼をキャンセルされたものとして取り扱わせていただきます。

8. 付属品について

セットの付属品については、製品到着時点ですぐにご確認ください。ご購入日より7日以上経過した後には付属品の欠品についてご連絡いただいた場合は、当該付属品の提供は全て有償となります。

9. 免責事項

次に該当する事項については、当社の責任の範囲外とし、万が一お客様に何らかの損失が発生した場合においても、当社は一切の責任を負わないものとします。

- 1 製品の故障または、修理やコールセンターを含む当社が提供するサービスにおいて失われたデータおよびプログラム、また、お客様がこれらのデータおよびプログラムを失ったことに起因して派生的に発生した逸失利益や第三者から損害賠償請求された場合などの拡大損失。
- 2 製品の故障または、修理やコールセンターを含む当社が提供するサービスにおいて失われた時間および営業的利益、梱包作業や修理品のお持ち込みに伴う諸経費。

10. 保証規定の変更

本規定の内容を変更する必要性が生じた場合は、予告なく変更する場合があります。お客様に対する通知は、<https://www.excomputer.jp/> など当社修理保守サービスの情報を提供するホームページでの表示により行われるものとします。

本規約は2019年5月1日から適用します

以上

第1条（規約の適用）

本規約は、第2条に定める対象機器をご購入された方（以下「お客様」といいます）が、株式会社Project White（以下「当社」といいます）の運営するeX.computerサポートセンター（以下「当社サポートセンター」といいます）経由で当社修理拠点もしくは当社が業務委託する修理拠点（以下「当社修理センター」といいます）に修理依頼される場合、当社の各地区店舗サポートに修理依頼される場合の基本条件を定めたものです。

お客様が当社に修理をお申し込みされた場合には、本規約に同意されたものとさせていただきます。

第2条（定義）

1. 本規約の対象となる機器（以下「対象機器」といいます）とは、お客様が日本国内で使用されている当社eX.computer製のデスクトップ型およびノートブック型のパーソナルコンピュータの本体とします。
2. 修理とは、日本国内において故障した対象機器の機能・性能を修復または維持を目的とし、機能・性能が同等の新品部品または機能・性能が同等に品質保証された再利用部品と故障した部品の交換作業等を行います。

第3条（修理の手続き方法）

修理を依頼される場合には、保証期間内外にかかわらず、製品に同梱の「修理チェックシート」に必要事項をご記入いただいた上で、当社サポートセンターにお電話ください。内容をお伺いして修理が必要な場合に、修理受付窓口をご案内いたします。

1. 修理品受付の方法

修理品の受付方法は原則として当社修理センターにご発送いただく方法のみとなります。

お客様ご自身で修理品の梱包、宅配業者の集荷手配をしていただき、当社修理センターに発送していただきます。

2. 発送修理の場合の送料について

ご購入日からの経過期間によって、お客様にご負担いただく送料が下記のとおり変わります。

なお、当社店舗以外の販売店もしくは販売業者からご購入いただいた場合には、下記が適用されない場合があります。

(1)初期不良期間内（ご購入日から1カ月以内）

お客様から当社修理センターにご発送いただく際の送料ならびに当社修理センターからお客様にご返却する際の送料については当社が負担いたします。なお、外箱など梱包に必要な資材についてはお客様ご負担となります。

(2)保証期間内（ご購入後1年以内）

お客様から当社修理センターにご発送いただく際の送料はお客様ご負担となります。当社修理センターからお客様にご返却する際の送料については当社が負担いたします。なお、外箱など梱包に必要な資材についてもお客様ご負担となります。

(3)保証期間外（ご購入後1年以上経過）

お客様から当社修理センターにご発送いただく際の送料はお客様ご負担となります。当社修理センターからお客様にご返却する際の送料については修理のお見積もりに加算させていただきます。なお、外箱など梱包に必要な資材についてもお客様ご負担となります。

(4)当社の延長保証にご加入されている場合

送料に関する費用については、延長保証の適用外となり、前項2-(1)～(3)の規約を適用させていただきます。

3. 添付していただく書類について

修理をご依頼される場合には、下記の書類を必ず添付してください。

(1)保証書原本（保証期間内修理の場合のみ）

(2)購入日を証明できるもの（レシート・納品書・ご注文完了メール）

(3)修理チェックシート

※当社の延長保証を適用して修理をご希望の場合には、当社発行の延長保証書原本を必ず添付願います。

4. 添付していただく付属品について

修理をご依頼される場合に同梱もしくは同時にお持込みいただく付属品については、不具合内容に直接関連するものに限定させていただき、それ以外の付属品は必ずお客様にて保管願います。なお、本規約にて指定した付属品以外に添付された物品の紛失・破損については当社として一切責任がないものとさせていただきます。

(1)必ず添付いただく付属品

(a) 電源コードもしくはACケーブル（デスクトップ型の場合）

(b) ACアダプターとACケーブル（ノートブック型の場合）

(c) バッテリー（ノートブック型の場合）

(2)添付の必要がない付属品（不具合内容に直接関係がある場合にはその限りではありません）

(a) 各種マニュアル類

(b) 各種ドライバ類（CD-ROM、DVD-ROMなど）

(c) 各種ディスク類（音楽やゲームのCD-ROM、映画のDVDなど）

(d) お客様が増設されたパーツ・周辺機器の付属品

(e) モニター

(f) スピーカー

(g) キーボード

(h) マウス

第4条（保証期間内の修理）

1. ガイドブック（本書）「安全にご使用いただくために」の記載事項に基づくお客様の正常なご使用状態のもとで保証期間内に故障した場合、ガイドブック（本書）に記載の保証規定・保証規約（以下「保証規定」といいます）に従い、ハードウェアの無償修理を致します。
詳細は、ガイドブック（本書）記載の保証規定をご確認ください。
2. 前項の条件にあてはまる場合においても、お客様が要望される追加作業（製品のメンテナンス、検証作業、OS再インストールなど）を行う場合は有償での対応となります。

第5条（保証期間外の修理）

1. 対象機器の保証規定に基づく保証期間終了後の修理をお客様が当社にご依頼の場合、当社は有償にて修理を実施致します。
2. お客様がご指摘の不具合内容以外でも、当社の基本テストで不具合が発見されたものは全て第6条の見積もりにてご提示いたします。
3. 対象機器お預かり後にお客様が修理のご依頼をキャンセルされた場合（第6条第2項・第3項に定める場合も含みます）は、診断料金が発生するものとし、お客様はこれを負担するものとします。ただし、お客様による修理終了承後のキャンセルは一切お受けできません。

第6条（修理料金の見積もり）

1. 有償修理となる修理依頼時において、お客様が修理料金の見積もりを当社に希望された場合、見積もり金額をお客様に通知するものとし、当該見積もり金額による修理について、お客様のご了承をいただいたうえで修理を実施致します。ただし、修理料金の上限金額をお客様からご提示いただいた場合、修理料金が上限金額内にある場合は、お客様にご了承いただいたものとして見積もり提示なしに修理を実施致します。
2. 前項において、お客様に見積もり金額をお知らせした日から30日を超えてもお客様から当社に見積もりに対するご回答がなかった場合は、お客様が修理のご依頼をキャンセルされたものとし、当社は修理を実施せずにお客様に返却いたします。
3. すでにお客様に通知済みの見積もり金額と修理の過程における修理金額に差異が生じた場合、当社は再度お見積もり金額をお客様に通知し、お客様のご承諾を再度いただいたうえで修理を実施させていただきます。なお、当該再見積もり後の金額での修理にご了承いただけなかった場合、お客様による修理のご依頼はキャンセルされたものとし、当社はお客様が診断料を負担することを条件に対象機器をお客様に返却致します。

第7条（当社の延長保証適用による修理）

1. 当社の延長保証(eX.computer延長保証) に加入している対象機器について、当社発行の延長保証書に記載されている規定に従い、ハードウェアの修理を実施致します。
(詳細は延長保証規定をご覧ください)
2. 当社以外の延長保証にご加入のお客様は、当社での修理受付はできません。ご購入(ご加入)いただいた販売店もしくは販売業者に修理依頼をしてください。

第8条（修理料金等の支払い方法）

第4条、第5条、第6条に基づき発生した修理料金等については、次の各号に定める規定に準じてお支払いいただくものとします。

(1)代金引き換え発送

対象機器の返却時に宅配業者による代金引き換え発送によるお支払で、荷物の到着時に宅配業者に直接代金をお支払いいただきます。なお、代金引き換え手数料はお客様の負担となります。また、この場合の領収書については、代金を回収する宅配業者が発行する領収書を正規領収書とします。

(2)銀行振込

当社指定の銀行口座に見積もりにて提示されている金額を振り込んでいただき、当社にてお客様からの入金を確認できましたら返却発送をする方法です。なお、振込手数料はお客様のご負担となります。また、この場合の領収書については、振込時に銀行が発行する控えを正規領収書とします。

第9条（修理品の保管期間）

修理完了後にお客様に修理が完了した旨をお知らせしているにもかかわらず、次の各号に定める規定に該当する場合、対象機器をお預かりした日から180日の保管期間の経過をもって、当社が当該対象機器を当社所定の方法にて処分できることにお客様は承諾するものとします。この場合、お客様は当該保管期間に要した費用ならびに当該処分に要する費用を負担するものとします。

- (1)当社にて保管している当該対象機器を引き取りいただけない場合
- (2)宅配便にて出荷した当該対象機器がお客様にて受け取られず当社に戻されて来た場合
- (3)見積もり金額をお伝えし、お客様が銀行振込を希望されたにもかかわらずお客様からの入金を確認できない場合
- (4)当社が知りうる範囲のお客様への連絡手段で連絡が取れない場合

第10条（故障部品の取り扱い）

無償修理・有償修理にかかわらず修理の過程で当社が取り外した部品は、環境保護および長期にわたる修理部品提供のために、再調整後検査し、新品部品と同等に品質保証された部品として再利用する場合があります。また、当該部品の所有権は当社に帰属するものとし、当該部品は返却できません。なお、再利用する主な部品としてはマザーボード、CPU、メモリー、グラフィックボード、液晶パネル、ACアダプターがあります。

第11条（修理ご依頼時の注意事項）

修理を当社にご依頼いただくにあたり、お客様は次の各号について承諾しているものとします。

- (1)お客様が保証期間内に修理をご依頼される場合には、購入を証明できるもの（レシート・納品書・ご注文完了メール等）を必ず対象機器に添付いただくものとします。
- (2)修理の際、お客様が修理をご依頼された対象機器の記憶装置（ハードディスク・SSD等）に記録されたデータ、プログラム、メールアドレスやメールのデータならびに設定内容は全て消去される場合があります。必ず修理を依頼される前に、お客様の責任においてあらかじめバックアップされるか、重要な内容は紙等に控えておいてください。記録されたデータ、プログラム、メールアドレスやメールのデータならびに設定内容が変化・消失したことによる損失・損害の請求につきましては当社は一切の責任を負いません。また、これらのデータやプログラムのバックアップや復旧作業は、当社の修理の対象外とします。
- (3)当社は、修理の過程で取り外したハードディスク・SSDに記録されていた内容は、データ消去処理（記録媒体に特殊パターンを書き込む方法により復元不可能な状態にする処理）またはハードディスク・SSDの破壊処理を行い、データ消去致します。
- (4)修理の内容により、ハードディスクの初期化・データ消去が必要となる場合がありますので、ハードディスクの初期化・データ消去にお客様はご同意いただいた上で修理をご依頼いただくものとします。これにご同意いただけない場合、修理をすることができず対象機器をお客様に返却する場合があります。この場合、当社はお客様が修理のご依頼をキャンセルされたものとします。

- (5)修理完了後のアプリケーションのインストールやインターネットの設定、プリンターの接続設定などにつきましては、お客様ご自身で実施いただくものとします。
- (6)お客様ご自身で対象機器に貼り付けたシール・ステッカー類、ペイント等は取り外したうえで修理をご依頼いただくものとします。また、お客様ご自身で行われた塗装や刻印等につきましては、元の状態への復旧はできないものとします。
- (7)当社は修理期間中の対象機器の代替機の貸し出しは行わないものとします。
- (8)お客様が対象機器にパスワードを設定されている場合には、当該設定を解除した上で修理をご依頼いただくものとします。
- (9)対象機器の修理とは関係のないCD-ROM、DVD-ROM、SDカードなどの各種メディア、他の機器との接続ケーブル、ならびに添付品（当社が修理の際に要求した場合を除く）等につきましては、お客様が保管するものとします。なお、万が一これらが対象機器に付加された状態で修理をご依頼いただいた場合、当社ではこれらの管理について一切責任を負いません。
- (10)液晶ディスプレイは、画面の一部に画素の欠けや常時非点灯、常時点灯等が存在することがありますが故障ではありません。この場合の修理および交換はできません。
- (11)お客様のご都合によりハードディスク・SSDを取り外した状態で修理を依頼される場合、当社の検証用ディスクとシステムにて検証を行いますが、この場合、返却後の正常動作は保証できず、第15条に定める再修理には当たらないものとします。
- (12)対象機器出荷時の標準搭載以外のオペレーティングシステムの動作検証や再インストール作業は、当社の修理の対象から除外するものとします。
- (13)対象機器出荷時の標準搭載以外の部品は、修理をご依頼いただく前にお客様ご自身で取り外していただくこととし、当該部品を使用されたことに起因する故障の修理は当社の修理の対象外とします。なお、万が一これらの部品が対象機器に付加された状態で修理をご依頼いただく場合、当社ではこれらの管理について一切責任を負いません。
- (14)修理作業の都合上、お預かりします対象機器のハードディスク・SSDにアクセスを行う場合があります。
- (15)対象機器は電磁気、温度、湿度、振動、通常の使用環境と異なる状況等により正常に動作しなくなる場合があります。使用環境の不良により対象機器に障害が発生したと考えられる場合には、当社は修理の拒否ができるものとします。
- (16)いかなる場合も、対象機器の修理作業の完了後に修理実施前の状態に戻す作業はお受けできません。
- (17)当社はいかなる場合もお客様のご自宅やお勤め先など対象機器の設置場所やお客様ご指定の場所に出張しての修理作業等ではできません。（別途出張修理契約を結んでいる場合を除く）
- (18)マイナンバー情報が入った機器はお預かりできません。対象機器をお送りいただく前に情報を消去してください。お送りいただいた時点で情報は消去されているものと判断します。

第12条（補修用性能部品）

1. 補修用性能部品とは、対象機器の機能・性能を維持するために必要な部品または機能・性能が同等に品質保証された再利用部品をいいます。
2. 対象機器を修理する場合で同型部品の調達が困難な場合には、当該部品と同等スペックの部品に交換されることをお客様は同意されているものとします。

3. 補修用性能部品もしくはこれと同等の部品の調達ができなくなった時点で、当該対象機器の修理対応は終了となります。

第13条（機密保持）

お客様、当社および当社が業務委託する第三者は、対象機器の修理の履行に関連して知り得た業務上の秘密、個人情報その他の秘密を他に開示しないものとします。

第14条（個人情報の取り扱いについて）

1. 当社は、個人情報（特定の個人を識別できるもの、以下同様とします）を取り扱う際に、個人情報の保護に関する法律をはじめ個人情報保護に関する諸法令、および主務大臣のガイドラインに定められた義務を遵守します。
2. 個人情報の利用目的は次の各号に定めるとおりです。
 - (1)対象機器の輸送を含む修理サービス提供のため。
 - (2)製品および品質向上のための統計分析。
 - (3)修理に関する電話やメールによる連絡のため。

第15条（責任の限定）

1. 当社が実施した修理において、当該修理時の修理報告書を添えて前回修理時にお客様が申告した症状が再現した旨お客様より当社にご連絡いただいた場合で、かつ同一箇所の再修理が必要と当社が認めた場合（ただし、前回修理時に症状が再現しなかった場合を除く）には、修理完了日より90日以内まで、当社は無償で修理を致します。
2. 当社は対象機器の修理作業において、当社の責に帰すことのできない事由による損害、当社の予見の有無を問わず特別な事情から生じた損害、逸失利益、派生的損害、第三者からお客様に対してなされた賠償責任に基づく損害、オペレーティングシステム、データその他のソフトウェアの破損、変更、消滅について責任を負わないものとします。
3. 本修理作業の結果として、オペレーティングシステム、データその他のソフトウェアの再導入、再構築が必要になった場合、当社はその責任を負わないものとします。
4. お客様は当社に、再修理を理由とする出張サポートや返金・返品を要求しないものとします。

第16条（規約の変更）

当社は、本規約の内容を変更する必要が生じた場合は、予告なく変更することができるものとします。お客様に対する通知は、<https://www.excomputer.jp/>など当社修理保守サービスの情報を提供するホームページでの表示により行われるものとします。

附則

本規約は2017年3月1日より適用します。

以上

第7章

回収・リサイクル

7-1 製品の買取りサービスについて……………P42

7-2 PCリサイクルについて……………P43

製品の買取りサービスについて

TSUKUMO（株式会社Project White）では、環境保全に積極的に取り組むことと、限りある資源を有効活用するため、不要となりましたパソコンならびにモニター等の買取を積極的に推進しております。

買取方法は、店舗での買取窓口と宅配を利用した買取窓口をご用意させていただいておりますのでお客様のご都合に合わせた買取りが選択できます。

買取りサービスの詳細につきましては、下記URLをご確認ください。

【ホームページアドレス】

<https://kaitori.tsukumo.co.jp/>



1

PCリサイクルについて

平成15年10月1日より施行されました「資源の有効な利用の促進に関する法律」の改正に合わせ、個人のお客様から排出される使用済み当社製パソコンの回収・再資源化の受付を承っております。

循環型社会の実現のため、お客様のご協力をお願い致します。

PCリサイクルにお申し込みの際は、下記の弊社窓口までご連絡ください。

【受付窓口】 ツクモ サポート・PCリサイクルセンター

【電話番号】 03-5256-7103

【受付時間】 月曜日～金曜日 11:00～19:00（休日：土、日、祝祭日、年末年始等の当社休日）

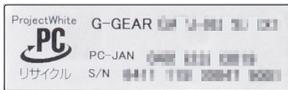
【ホームページアドレス】 <https://support.tsukumo.co.jp/contents/recycles/>

【メールアドレス】 recycle@tsukumo.co.jp

2

回収対象の製品について

パソコン背面または側面に貼付の製品型番記載シールに、下記PCリサイクルマークが印字されています。こちらのマークが印字されたシールが貼付されている製品が回収対象となります。（シールが剥がされている場合は、回収の際に費用のご負担が発生致しますのでご注意ください）



<事業所・法人のお客様へ>

弊社PCリサイクルセンターでの対応は、ご家庭でご使用される個人のお客様が対象となります。

事業系でご利用の場合で使用済みパソコンを処理される場合は、お客様にて廃棄物処理業者を手配の上、産業廃棄物処理にて対応をお願いいたします。

認 可 事 項

連邦通信委員会(FCC) 準拠の事項

この機器は連邦通信委員会の規定第15条に従い、クラスBデジタル装置の制限に準拠する検査と証明を受けています。この制限は、住宅への設置によって発生する有害電波干渉に対抗する応分の防御を提供するために設けられています。この機器は高周波エネルギーを発生、使用し、放射する可能性があり、説明に従って設置、使用されない場合はラジオやテレビの受信障害の原因となることがあります。ただし、特定の設置方法において電波干渉が発生しない保証はありません。この機器がラジオやテレビの受信障害の原因になっていることが電源の入/切によって確認できる場合は、電波干渉を解消するために以下の手段のいくつかを試みることをお勧めします。

- 受信アンテナの向きや位置を変える。
- 機器と受信機を離す。
- 受信機が接続されている回路と別の回路へのコンセントに機器を接続する。
- 販売会社または経験豊富なラジオ/テレビの技術者に相談する。